

「漢字教育の効果は学校の勉強の理解力にもはっきり現れる」

梅島幼稚園(足立区)
園児のお母さん W・Aさん

うちの子どもは、現在高一の女の子、中二の男の子、そして幼稚園年中の女の子の三人兄弟。真ん中の男の子が六年間、「石井式国語教室」にお世話になり、いろんな面でプラスになったので、いちばん下の子は迷わず、長年漢字教育を実践している梅島幼稚園に決めました。

やはり、小さい頃から漢字を通して、いろいろな言葉に触れていると、まず話し方がとてもしっかりしてきますし、文章の読解力、さらにはもっと大きな意味での理解力もついてくるような気がします。ですから、国語だけでなく数学なども、特別に塾などに通わなくてもできてしまいます。あまり兄弟を比較してはいけないのですが、いちばん上の女の子は、きちんと授業を聞いていても、どこか理解できていない部分があるようで、やはり漢字教育を受けたか受けないかの差は大さいなというのが実感です。

いちばん下の子も、漢字にははじめからまったく抵抗なく楽しみながらやっているようです。幼稚園で使っている絵本は、先生からもくり返しお話ししていただいているので、内容はすっかり頭に入っています。それでも家では「読んで、読んで」とよくせがまれます。

「諺かるた」なども「一緒にやろう」って、もうたいへんです。

それに、どこかで“家”という字を見て“象”という字に似ているね」と言ったり、大人同士の会話を聞いていて“不思議”って何？」と突然尋ねたりして、こちらがびっくりさせられたり、なるほどと感心させられることもよくあります。

トレーナーなんかにはプリントしてある英語のアルファベットを指して、「これ、何て読むの？」と聞かれたりすることも……。

私としては、今、英語までやらせようというつもりはありませんが、とにかく文字や言葉に対して、すごく好奇心が旺盛なのです。

また、ただ漢字が読める、本が読める、というだけでなく、人の話がきちんと聞けたり、挨拶や感謝の言葉がきちんと言えたりする、というようなしつけの部分まで、幼稚園の漢字教育を通じて教えていただいているような気がします。

そういう面では、すごく内面的にしっかりしていて大人なので、私自身、以前なら「この子には、まだちょっと早いかな」と思うようなことでも「もしかしたら、できるんじゃないかしら」という感じで、いろんなことにトライさせてみようと考えようになってきました。

そんなふうに、子どもの可能性を広げてくれるところも、漢字教育の効果の一つかもしれせん。